

北陸地方整備局

記者発表

配布日時

令和5年3月29日

カーボンニュートラルポート「北陸地域で連携強化」へ

～CNP 広域連携輸送・新技術等活用検討ワーキングチームの検討結果概要～

今年度開催した2つのワーキングチーム（WT）で検討してきた課題に対する今後の取組の方針を「北陸地域におけるカーボンニュートラルポート（CNP）ワーキングチームの基本的な方向性」としてとりまとめました。

日本海側の CNP 広域連携輸送検討 WT については、広域連携輸送の最適範囲とネットワークモデルの構築を目指していきます。CNP 新技術等活用検討 WT については、日本海側港湾空間へのフィールド展開に向けて、北陸地域の関係機関が連携・情報共有できる体制の構築などを目指していきます。

- 北陸地方整備局では、カーボンニュートラルポート（CNP）形成に向けて各港が個別に検討を進めている協議会（※）を支援するため、広域的な視点等での検討を行う「北陸地域における CNP 広域連携輸送検討 WT」及び最新技術の情報共有等を行う「北陸地域における CNP 新技術等活用検討 WT」を各計5回、開催してきました。

（※）現時点での協議会は港湾法に基づかない任意の協議会ですが、法定協議会である「港湾脱炭素化推進協議会」へ移行予定のものも含まれます

- 今般、各 WT で議論した内容を「日本海側の CNP 広域連携輸送に向けた基本的な方向性」及び「CNP 新技術等の日本海側港湾空間へのフィールド展開に向けた基本的な方向性」としてとりまとめました。
- 次年度以降は本方向性に基づき、関係者とともに北陸管内港湾の将来的な水素・燃料アンモニア等の効率的な海上輸送ネットワークの構築や脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化に向けた CNP に関する新技術等の情報共有ができる体制の構築を目指して参ります。

[添付資料]

資料1：北陸地域における CNP 検討ワーキングチームについて

資料2：北陸地域における CNP 検討ワーキング 基本的な方向性 [概要]

資料3：日本海側の CNP 広域連携輸送に向けた基本的な方向性

資料4：CNP 新技術等の日本海側港湾空間へのフィールド展開に向けた基本的な方向性

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
福井県政記者クラブ
専門紙

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部 計画企画官 井出
クルーズ振興・港湾物流企画室 室長 渡邊
課長補佐 齋藤
TEL：025-370-6706（直通）